

# 平成29年度学校評価報告書

平成30年 3月27日

北海道教育委員会教育長 様

北海道岩見沢東高等学校長 若 林 利 行

次のとおり平成29年度の学校評価について報告します。

## 1 全日制課程

### (1) 本年度の重点目標

- ア 全学年を通して学力の一層の向上に努め、進路目標の全員達成を目指す。
- イ 特別活動を通して自律的精神の一層の高揚に努め、個性の全面的開花を図る。
- ウ 心身の健康について自己管理能力を高め、校内外における奉仕活動を推進する。

### (2) 自己評価結果・学校関係者評価結果の概要と今後の改善方策（全日制課程）

| 評価項目                         | 自己評価の結果                                                                                                                                                                                                                                                                         | 学校関係者評価の結果                                                                                                                                                                |
|------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 教育課程<br>学習指導                 | <ul style="list-style-type: none"> <li>○新学習指導要領の告示を見据えた教育課程の編成を進めるとともに、土曜授業や55分授業の検討を行い、学力向上に向けた指導方法の工夫改善を図った。</li> <li>○ウィークスディの取組や自習環境の整備を進めることで、自学自習習慣の定着と主体的な学習態度の育成が図られた。</li> <li>○各種アンケートの分析を適宜行うとともに、新しい学力観に対応した調査を導入することで、難関大学進学を可能にする学習指導の充実が図られた。</li> </ul>         | <ul style="list-style-type: none"> <li>・進学校として自信を持った学習指導の成果が高く評価できる。</li> <li>・生徒の多様性に対応する工夫改善への期待が大きい。</li> <li>・高大接続改革の動向に的確、迅速に対応して欲しい。</li> </ul>                     |
| 改善方策                         | <ul style="list-style-type: none"> <li>・新しい学力観を踏まえた組織的な授業研究を推進し、生徒・保護者・社会のニーズに応える学習指導の充実を図る。</li> <li>・55分6時間授業から50分6時間授業へ変更するとともに、授業時間外（放課後30分程度）を有効活用し、生徒の多様性や個に応じた指導を充実する。</li> </ul>                                                                                        | ・部活動・保護者・社会のニーズに応える学習指導の充実を図る。                                                                                                                                            |
| 生徒指導                         | <ul style="list-style-type: none"> <li>○部活動や生徒会活動への積極的な参加が見られ、自己有用感を醸成することができた。</li> <li>○朝の玄関指導や自転車指導、校内ネットパトロールやいじめアンケートを充実させ、事故の未然防止の効果を高めた。</li> <li>○専門家と連携した「ストレス対処能力の育成」を目指す取り組みを開始するなど、いじめや不登校の未然防止対策が充実した。</li> </ul>                                                  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・部活動が充実しており、文武においてメリハリのある指導を継続して欲しい。</li> <li>・いじめ防止やストレス対応の取組は高く評価できる。</li> <li>・自転車マナーやSNS指導はの継続が求められる。</li> </ul>               |
| 改善方策                         | <ul style="list-style-type: none"> <li>・教育相談的サポート体制の工夫改善を進め、生徒理解の一層の深化を図る。</li> <li>・積極的に大学、警察等専門機関の教育力を活用し、力強く生きる力の育成を図る。</li> </ul>                                                                                                                                           | ・本校ならでの取組となっており、評価が高い。                                                                                                                                                    |
| 進路指導                         | <ul style="list-style-type: none"> <li>○キャリア教育の視点に立った進路指導を重視し、著名人や大学関係者を招聘した講演会、説明会、講義、座談会を実施し（35回）、生徒の学習意欲・進路意識の向上及び保護者の意識啓発に成果を上げた。</li> <li>○生徒一人ひとりの進路実現に向け、習熟度別授業や講習の実施など、個に応じたきめ細かな進路指導が充実した。</li> <li>○「岩東2世紀ビジョン（仮称）」の作成に着手し3年間を見通した計画的な進路指導の実践へ期待が高まった。</li> </ul>     | <ul style="list-style-type: none"> <li>・卒業生や著名人の活用は効果的であり、より充実を図って欲しい。</li> <li>・国公立大学のみならず私立大学への進学指導強化も必要である。</li> </ul>                                                 |
| 改善方策                         | <ul style="list-style-type: none"> <li>・今後より一層、多様な生徒に応じた進路指導への期待の高まりを想定し、中長期ビジョンの策定と各組織が更に連携・協力を深めた組織的な取組を推進する。</li> </ul>                                                                                                                                                      | ・本校ならでの取組となっており、評価が高い。                                                                                                                                                    |
| その 他                         | <ul style="list-style-type: none"> <li>○校内研修会を通じた「目指す生徒像」及び「目指す学校像」の策定により、新たな本校の進むべき方向性を明確化した。</li> <li>○本校の充実した教育内容、進路実績、穏やかな人間関係の中での活発な学校生活等について、中学校説明会や学校HPを活用し積極的に情報発信することで、高い入学希望率を達成した。</li> <li>○5年間口完成による生徒数及び教員数の減少に対応するため、組織・業務や規程の見直しを進めることで円滑に教育活動を実施した。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・伝統に更に磨きをかけ、積極的に本校の魅力の発信に努めている姿勢が伝わっている。</li> <li>・創立100周年に向けOBの力を積極的に活用したらよい。</li> <li>・校舎老朽化が著しい。校舎移転も念頭に働きかけを行って欲しい。</li> </ul> |
| 改善方策                         | <ul style="list-style-type: none"> <li>・更なる本校の魅力の発掘・発信に努め、伝統を守り、地域に信頼され、愛される学校づくりを進める。</li> </ul>                                                                                                                                                                               | ・校舎老朽化が著しい。校舎移転も念頭に働きかけを行って欲しい。                                                                                                                                           |
| 服務規律<br>資質能力<br>の向上等<br>改善方策 | <ul style="list-style-type: none"> <li>○全体研修と個別研修を実施した。</li> <li>○授業公開や各種研修会への参加を奨励した。</li> <li>○面談において学校課題を共有し、学校経営参画意識の高揚に努めた。</li> </ul>                                                                                                                                     | <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域における本校教職員の指導力への評価が高まっており、今後も一層の信頼向上に努めていって欲しい。</li> </ul>                                                                       |
| 改善方策                         | <ul style="list-style-type: none"> <li>・より一層コンプライアンスに関する意識が高揚するよう努める。</li> <li>・時間外勤務の縮減について確実な取り組みを進める。</li> </ul>                                                                                                                                                             | ・地域における本校教職員の指導力への評価が高まっており、今後も一層の信頼向上に努めていって欲しい。                                                                                                                         |

公表方法 ・PTA総会、保護者説明会等で公表する。 ・本校のホームページに公開する。